

2024 年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
文学部 国際文化学域 「人文学プロポーズ方式」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
国際文化学域	58	35	32

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

提出された出願書類に基づき、ES では国際文化学域を志望する理由や卒業後の進路計画が明確であること、プロポーザルシートでは国際文化学域に特徴的な教学を理解したうえで入学後に探求したいテーマを記述しているかどうかを重視しました。

(2) 解答状況

(1)の評価ポイントに適合する出願書類が多くありましたが、探求したいテーマと国際文化学域の教学内容が一致していない記述や、ある特定のことがらが単に好きという記述もあり、発想力と分析力を併せ持つ能力を発揮してほしい「人文学プロポーズ方式」という選抜実施の趣旨から、これらには高い評価を与えることはできませんでした。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

プレゼンテーションでは、プロポーザルシートの内容および学習・活動計画がわかりやすく提示されているかどうかを、そして質疑応答及び面接では、国際文化学域の教学内容に対する理解、学習計画、卒業後の希望進路などを確認しました。

(2) 解答状況

プレゼンテーションでも質疑応答及び面接においても、高校における探究学習の成果と思われませんが、スムーズかつ明瞭に自身のことばで説明することができる受験者がほとんどでした。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

プレゼンテーション、プレゼンテーションに対する質疑応答、そして書類に基づく面接という構成です。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

入学後に探求したいテーマと国際文化学域の教学内容との一致だけでなく、本学域が学生に望む発想力、分析力、表現力、主体性などを有しているかどうかを確認するためです。学生生活（課外活動含む）や卒業後の進路について展望を持っているかどうかも確認しています。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

国際文化学域は、芸術、歴史、文学、思想といった人文学の諸学問を横断的に学ぶことができる学域です。これまでに培った力をさらに伸ばすため、自身が学びたいテーマにまつわる情報収集や語学学習など、今からできることを見つけてもらいたいと思います。

以上